* 大分大学大学院工学研究科博士前期課程 ** 大分大学理工学部·准教授 博士 (工学)

内 各ゾーンで**年代別のデザインコード**を抽出

○清川智裕*

1. 研究の背景と目的

3) 竹田市 (2016.3) 「竹田市景観計画」

修景モデルは明記されていない。

- ・「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」(以下,歴まち法)が 2008 年に施行。 歴史的風致注1)と定義されれば,修景補助等の面的な支援が可能となった。
- ・歴まち法は規制を目的とした法律ではない。

→各自治体は,**独自の助成制度**を設けるなどして,開発行為に対する制限を図っている。

☆ 佐野ら ¹ によると各自治体が独自に定める制度には助成の可否判断の客観的公平性の確保などの課題

・大分県竹田市城下町地区(以下,竹田城下町地区)は,歴史的風致維持向上計画を策定し, 自主条例に基づいた「竹田市地区町並み形成景観・修景ガイドライン」(1997)²⁾ を運用している。

・竹田市景観計画(2016)は景観形成の方針の1つに「各時代の建物の良さを引き継ぐ」3)とある。

竹田修景ガイドラインは,この計画の策定以前に定められており,

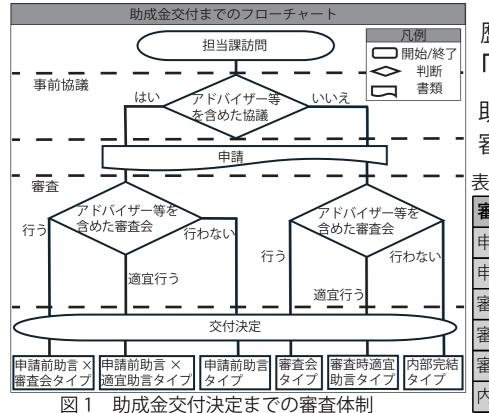
多様な建築年代の建築物が混在しているという現状に十分適したガイドラインとはいえない注2)。

歴まち法と独自の助成制度によって修景を行う自治体の助成制度の**全国的な傾向を把握**し, 目的 大分県竹田市を対象に江戸期,明治期,大正期,昭和前期,昭和後期以降の 各年代のデザインコードを抽出し,今後の**助成基準を提案する**

日本建築学会計画系論文集,vol.67,No.551 2) 竹田市 (1997)「竹田地区街並み形成景観・修景ガイドライン」

「歴史的風致の維持及び向上に関する法律」は , 地域における人々の活動やそれに関わる習慣などの無形の要素と 周辺環境などの有形の要素が一体となった状態を「歴史的風致」と定義している。 竹田修景ガイドラインには,修景整備モデルの例として,勾配屋根の屋敷型建築物,町屋型建築物のイラストが明記されているが年代ごとの

3. 全国的な助成制度の制定内容と傾向



歴まち法と独自の助成制度によって修景を行う 17 自治体の 「審査体制」と「助成対象範囲」に基づいて類型化する 助成金交付に至るまでのフローチャート(図1)から,

審査体制を6タイプに類型化した(表1) 表 1 17 白治体の審査体制タイプ

スト 17 日沿体の毎日体的グイン							
審査体制タイプ	自治体名						
申請前助言×審査会タイプ	該当なし						
申請前助言×適宜助言タイプ	白河市、村上市、伊賀市、宇治市、三島市						
審査前助言タイプ	高野町、水戸市、前橋市						
審査会タイプ	竹田市、盛岡市、大洲市						
審査時助言タイプ	長浜市						
内部完結タイプ	堺市、熊本市、松江市、斑鳩町、山鹿市						

次に,助成対象範囲と建築物指定制度注20の有無(表2)に基づき,助成対象範囲内の区域設定 を5つの種類に分類した

表 2 助成対象範囲と建築物指定制度の組み合わせ

表 3 対象自治体の審査体制タイプ毎

建築物指定

名称	一般助成区域	一般助成区域×建築物指定	重点助成区域	重点助成区域×建築物指定	最重点助成区域×建築物指足
助成対象範囲と 建築物指定制度 の組み合わせ	市全域 歴まち計画 重点区域 助成区域	市全域 建築物指定制度有 歴まち計画 重点区域	市全域 歴まち計画 重点区域 助成区域 重点助成区域	市全域 建築物指定制度有 歴まち計画 重点区域 助成区域 重点助成区域	市全域 建築物指定制度有 歴まち計画 重点区域 重点助成区域 最重点助成区

6つの審査体制タイプごとに,助成対象範囲・建築物指定制度の有無の組み合わせと 「建築物」「工作物」)の助成上限額を表2に示す

	助	力成対象範囲	田と助成	上限額	額		/ 全国	平均 (%	~50% b)			100%			130%0~	
審査 自 助成対象範囲と					助成する対象											
体制 治 建築物指定の タイプ 体 組み合わせ	助成上限額	建築物 最重点助成区域 重点助成区域				一般助成区域 最重点助成区域			工作物 工作物 一般即			+				
									指定無			一般助 指定有		ı		
市 村 重点 助成区域設定 市	河	重点助成区域設定	上限助成額 (万円) 上限助成額 /全国平均(%)	-	-	-	100	-	80	-	-	-	30	-	30	
	重点助成区域設定	上限助成額 (万円)	-	-	-	80	-	50	-	-	-	10	-	50		
	—般	/全国平均(%) 上限助成額	-	-	-	30%	100	35% 200	-	-	-	9%	100	100		
	助成区域設定+	(万円) 上限助成額 /全国平均(%)	-	-	-		28%	138%	-	-	-	-	63%	94%		
イ ^ロ プ	 宇 治	一般 助成区域設定+	上限助成額 (万円)	-	-	-	-	300	100	-	-	-	-	-	100	
	市	助成区域設定+ 建築物指定	上限助成額 /全国平均(%)	-	-	-		84%	69%	-	-	-	-	-	94%	
	島	一般 助成区域設定	上限助成額 (万円) 上限助成額	-	-	-	-	-	100	-	-	-	-	-	100	
	市高		/全国平均(%) 上限助成額	-	-	-	300	-	69% 200	-	-	-	50	-	94% 50	
	野町	重点 助成区域設定	(万円) 上限助成額	-	-	-	113%	-	138%	-	-	-	47%	-	47%	
客を	水	一般	/全国平均(%) 上限助成額 (万円)	-	-	-	-	-	200	-	-	-	-	-	200	
イ前 戸 助成 市 前 権	助成区域設定	上限助成額	-	-	-			133%	-	-	-	-	-	188%		
	一般 助成区域設定	上限助成額 (万円) 上限助成額	-	-	-	-	-	100 69%	-	-	-	-	-	75%		
	竹	最重点	/全国平均(%) 上限助成額 (万円)	1000	250	800	150	400		250	-	200	-	100	-	
	市	助成区域設定+建築物指定	上限助成額	100%	100%	150%	56%	112%	69%	100%	-	100%	-	63%	-	
タ 審 イ 査	盛岡	一般 助成区域設定+ 建築物指定	上限助成額	-	-	-	-	300	100	-	-	-	-	300	100	
プ会	市		上限助成額 /全国平均(%) 上限助成額	-	-	-	-	84%	69%	-	-	-	-	188%	94%	
	大洲市	一般 助成区域設定	(万円) 上限助成額	-	-	-	-	-	150		-	-	-	-	38%	
タ査け	長	一般助成区域設定	/全国平均(%) 上限助成額 (万円)	-	-	-	-	-	90	-	-	-	-	-	90	
イ 時 プ 助言	浜市		上限助成額 /全国平均(%)	-	-	-	-	-	62%	-	-	-	-	-	85%	
埋 重点 埋 助成区域設定 -	重点 助成区域設定+	上限助成額	-	-	500	300	250	-	-	-	100	100	60			
	市 熊	建築物指定	上限助成額 /全国平均(%) 上限助成額	-	-	94%	113%	70%	-	-	-	50%	94%	38%	\square	
	本市	重点 助成区域設定+ 建築物指定	(万円) 上限助成額	-	-	300 56%	150 56%	150 42%	-	-	-	300 150%	150 142%	94%	\dashv	
タ部	松	重点助成区域設定	/全国平均(%) 上限助成額 (万円)	-	-	-	600	-	300	-	-	-	200	-	200	
プ結	江 市 ———		上限助成額 /全国平均(%)	-	-	-	225%	-	207%	-	-	-	189%	-	188%	
	斑鳩	一般 助成区域設定+	上限助成額 (万円) 上限助成額	-	-	-	-	1000			-	-	-	300		
	町山	建築物指定	上限助成額 /全国平均(%) 上限助成額	-	-	-	-	280%			-	-	-	188%		
	鹿	助成区域設定+	(万円) 上限助成額		_	_	_	300	100			_	_	31%	50 47%	

1000 250 533 267 357 145 250

1. 申請前助言 × 適宜助言タイプの自治体 伊賀市以外の4自治体が助成する 対象の助成上限額が平均以下

助成上限額を低く設定 する傾向にある

助成金交付決定までに設計者, 行政,専門家などを交えた 意見交換を行う機会が複数 あるため、助成金額ではなく, 指導や助言によって景観形成を 図っているため など

Ⅱ. 内部完結タイプに分類される自治体

山鹿市以外の4自治体が助成する 対象の少なくとも1つは平均以上

助成上限額を高く設定

する傾向にある 要因には…

助成金交付までの処理が

すべて**担当課内で完結**するため, 助成の可否が判断しやすい ガイドラインを設け ,**助成金額を** 高額に設定することにより、 景観形成を図っているためなど

大分県竹田市について

助成範囲設定について…

最重点助成区域設定 × 建築物指定を 有する自治体は,大分県竹田市のみ

助成対象と助成上限額について… **竹田市が**助成の対象とする **7/9 で** 助成上限額が全国平均の 100%以上

竹田市の助成制度は, 全国の助成制度と比較して, きめ細やかな範囲設定かつ手厚い

2. 研究の流れ

重伝建には選定されていない

4章:年代別デザインコードの抽出 多様な建築年代の

歴まち計画と独自の助成制度を設け助成事業を行う自治体 建築物が混在している竹田市城下町 当該自治体における助成制度の 既往研究 4) に基づき城下町を 2 つのゾーンに分類

新たな竹田市の**助成基準**を提案

4. 大分県竹田市城下町のデザインコード抽出

3章:全国的な助成制度の傾向

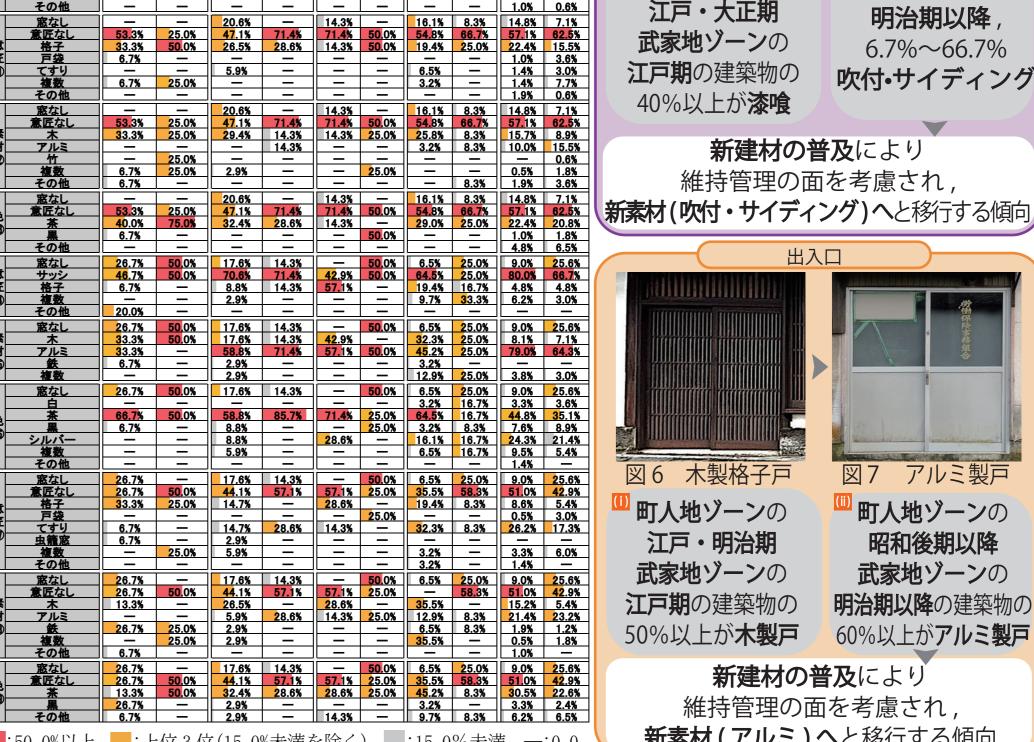
「助成上限額」「助成対象範囲」「審査体制」の制定傾向

竹田城下町地区内で 547 棟を調査対象とした

本章では,竹田修景ガイドラインで建築物の形態・意匠として規定されている 「屋根」・「外壁」・「出入り口・窓」の外観構成要素に着目し,過去の土地利用 4)に基づく

町人地ゾーンと武家地ゾーンにおける各年代のデザインコードを明らかにする





維持管理の面を考慮され、 新素材(アルミ)へと移行する傾向

5. 助成基準の提案

:50.0%以上:上位3位(15.0%未満を除く):15.0%未満



今後の課題 広告物等の工作物に関する基準の検討

アルミ製の

木製の戸

アルミ製

アルミ製のサッシ

木製の手すり

漆喰

アルミ製のサッシ

アルミ製の格子

吹付・サイディング

|(※漆喰風仕上げ) アルミ製の戸